大草谷津田いきものの里 自然観察会

かっこいいぞ！ オニヤンマ

木下順次（千葉市）

日　　時 ：2019 年 9 月 1 日（日）10 時 30 分～12 時　天候 ：晴
参　加　者：大人 24 名　子ども 20 名
担当指導員：遠藤登志子・木下順次

オニヤンマ

お盆時期の猛暑は多少和らいだものの、高気圧が関東地方を覆い、連日真夏日が続く快晴の週末である。時間が近づいてきても集まるお客さまは少なく、これは夏休み最終日で観察会どころではないのかと心配した。結構表題の「かっこいいぞ！オニヤンマ」には過去の実績がついているので自信を持っていたので少し慌てたが・・・。最後は子ども連れの親子参加者が次々に来園され、駐車場の混雑が心配になるほどであった。結果は 40 名越えで大盛況である。今回は 3 月にもヤゴ調査でお世話になった互井さんがオニヤンマやハッチョウトンボ、海外の珍しい大型のイトトンボなどたくさんの標本をお持ち下さったので、大草のオニヤンマの羽化殻（今となっては割と貴重）などと一緒に始まる前の時間に見てもらった。

遠藤さんとは、「子どもが多いと谷津田についたとたんにみんなムシ捕りに散らばってしまうので、お勉強タイムは最初にすべて済ませてしまって田んぼでは自由にムシ捕りする時間をとりましょう」という申し合わせをしていた。大草にいるトンボを写真とともに紹介した後、生態写真を交えながら、交尾～産卵（種類ごとに異なる産卵の仕方も）～水中でのヤゴの暮らしや食べ物などトンボの一生について簡単に話す。

それから、大事なこととしてこの時期、トンボに限らずいろいろなムシがあちこちで産卵していて、簡単に捕まえることができるけれども、産卵と分かったらそっと見ていてあげることを約束してもらってから谷津田に向かった。網をふる時間はたっぷり30分以上。後でどんな生きものが見つかったかをみんなでシェアするために蓋つきの透明カップを全員に渡した。

それにしても、いるのはシオカラトンボばかりで本日の主役であるはずのオニヤンマが少ない。なぜかノシメトンボ・ナツアカネもほとんどいない。オニヤンマは下見でも 1～2 頭しか発見できず、出現を心配していたが、指導員＆参加者でそれぞれ 1 頭ずつ捕ってくれたので、みんな間近でじっくり観察することができた。大人たちもオニヤンマのまわりをとり囲んで、迫力のある大きさに見入った。1匹はメスのオニヤンマだったので、最初のお話のとおり、早めに放してあげてもらった。

オニヤンマと並ぶ今回の目玉（と勝手に決めていたが）のギンヤンマは下見の時は 2 頭現れ、田んぼの水面を優雅に飛翔していたが、本番では結局現れず観察することができなかった。なかなか手元に来てくれず捕獲に成功したことのないギンヤンマは自分にとっても憧れのトンボであるのだが。

最後に、捕獲した生き物を皆で観察した。さすがに 40 人もいると実にたくさんの種類の生きものが見つかった。

オニヤンマ・ノシメトンボ・シオカラトンボ・オオシオカラトンボ・ホソミオツネントンボ・ショウリョウバッタ・コバネイナゴ・オオカマキリ・ヒメカマキリ・シュレーゲルアオガエル・ニホンアマガエル・ニホンアカガエル・コクワガタ・モンシロチョウ・アメリカザリガニ・○○・△△・□□・・・・・・。

カエルを捕まえた子はカエルが捕まえられてよかったと話し、シオカラトンボを捕まえた子はシオカラトンボを捕まえられてよかったと話す。網を振るっている時の子どもたちの生き生きした姿が印象的だった。

担当した二人の共通の感想・・「オニヤンマの数が減っているのが、気がかりです。」